

プログラム16

熱帯林と私たちの暮らし（環境保全活動）

目的

- ・ 熱帯林を含む森の役割を知る。
- ・ 熱帯林が消滅しつつある現状や、その現状と自分たちとの関わりを知る。
- ・ 熱帯林にすむ人たちの思いに気付く。
- ・ 熱帯林など森を守るために、木材を大量消費している自分たちがどのように生活スタイルを変えればよいかを考え、世界や日本の森を守る活動につなげる。

概要

熱帯林の役割を知り、その上で我々の大量生産・大量消費・大量廃棄の影響で熱帯林が急速に減少し、そこに住む生き物や人々の暮らしを脅かしている現状を知る。どうしたらこの問題を解決できるかを、自分の身の回りそしてライフスタイルから考えてみる。

対象

小学生から大人まで（人数は10名程度以上）



実施時期

いつでも実施可能。

所要時間

1時間半～2時間程度

準備物

<学習～話し合い>

- ・ 冊子「森の言葉」（1冊）（サラワク・キャンペーン委員会から取り寄せる。価格500円）
サラワク・キャンペーン委員会（<http://www.kiwi-us.com/~scc/>）
- ・ 資料「熱帯林と私たちの暮らし（クイズ、いくつかの事実、訴え）」（参加者数分）
- ・ 世界地図（大きなもの1枚）
- ・ 筆記用具（参加者数分）



- ・ 名刺大の紙（参加者数×10 枚）

< 振り返り >

- ・ 振り返りシート（参加者数分）

内容

< 熱帯林についての学習 >

- ・ 参加者全員に、「森ってどんなところ」「森の役割って何」「森の木を切っちゃうとどうなる」などの質問を投げかけ、参加者に回答してもらう。
- ・ 冊子「森の言葉」を読む。感想を尋ねる。
- ・ 資料「熱帯林と私たちの暮らし」の「クイズ」をして、クイズの答え合わせをする。
- ・ 資料「熱帯林と私たちの暮らし」の「熱帯林についてのいくつかの事実」を配り、読む。参加者が小学校低学年の場合は、内容をわかりやすく伝える。
- ・ 資料「熱帯林と私たちの暮らし」の「熱帯林に住む人からの訴え」を配り、みんなで朗読する。参加者が小学校低学年の場合は、内容をわかりやすく伝える。
- ・ 数人から感想を聞く。

< 熱帯林を守るためにすることについての話し合い >

- ・ 参加者を5名程度のグループに分ける。
- ・ 名刺大の紙に、「熱帯林を守るためには、熱帯材を大量消費している自分たちの生活をどう変えていったらよいのか」を考え、一人3つ以上アイデアを書く。
- ・ みんなの紙を合わせてトランプの要領できり、それぞれに3枚ずつ配る。余ったカードはまん中に裏返しておく。
- ・ カードの中からいいアイデアだと思うものを3枚そろえる。ただし、自分の書いたカードやあまりいいと思えないカードはまん中のカードの下に入れ、上から新しいカードをその枚数取る。手元には常に3枚持つことになる。
- ・ グループ内のメンバーの納得できるカードがそろったら、全員でオープンし、その中からグループ内でのベスト5を選ぶ。
- ・ 各グループから、順に発表する。

< 振り返り >

- ・ 今日の活動で気付いたことなどを、各自で振り返りシートに記入する。
- ・ 感想や今日からやろうと決めたことなどをみんなで発表しあう。

安全対策や配慮事項

- ・ 実施時間が長い場合は適宜休憩をとり、お茶やお菓子でコミュニケーションをとるのもよい。

展開や応用

- ・ 熱帯材にはどのようなものがあるのか調べて、ホームセンターへ調査に行ってみる。この場合は、店の協力のもとに大人が付き添うことを前提とする。
- ・ 熱帯林で何が起きているのか、人々（熱帯林に住む人々や NGO）はどのような活動をしているのか、日本はどうやって関わっているか、インターネットや本などで調べてみる。

参考 HP : 政府や国際機関としてなど日本の関わりについても記載させて顶きたい。

国際熱帯木材機関 (ITTO) <http://www.itto.or.jp/live/index.html>

サラワク・キャンペーン委員会 (SCC) <http://www.kiwi-us.com/~scc/index.html>

熱帯林行動ネットワーク (JATAN) <http://www.jca.apc.org/jatan/>

政府開発援助 (ODA) <http://www.apic.or.jp/plaza/oda/qa/20051228-01.html>

参考文献 :

岩波ブックレット NO. 350 「先住民とともに生きる」 ベス・リシャロン著

- ・ 日本の森ではどんな問題があるか考えてみる。
- ・ 熱帯林以外にも北洋材や県産材について調べるのも面白い。

プログラム提供団体

団体名・担当者名 サンコファ・ネイチャーリサーチ 朝比奈裕子 (あさひな ゆうこ)

住所 富山市吉作117 大栄ハイツ3-206

電話番号 076-434-0985

電子メール keh00171@nifty.com

ホームページ なし

団体の概要 1997年発足。自然・環境・国際のテーマを中心に、環境保全を目的とした「自然をよく知る」ための「野外活動」や、世界や環境の問題解決に向けて「自ら考え・行動する人」を育てるための「ワークショップ(参加体験型学習)」や「おはなし会」などの講師派遣を行っている。

野外活動：自然観察・バードウォッチング・アニマルトラッキング・ごみ探検

ワークショップ：バナナ・パームオイル・熱帯林と私たちの生活について。

工作：自然素材を集めて作ってみよう(リース・かご等)・足跡スタンプ作り。

おはなし会：アフリカの人たちと暮らして・フェアトレードって何 等々。